

創立 1980 年 10 月 8 日

Rotary ROTARY CLUB OF SAKAI NORTH

第 2640 地区 堺北ロータリークラブ週報

事務所 〒590-0940 堺市堺区車之町西 2 丁 1 番 30 号 ポピア南海 3 階 302 号

Tel (072) 223-2300 番 Fax (072) 223-5005 番

URL : <https://www.sakai-kita.jp/>E-mail : snrc@jasmine.ocn.ne.jp

例会日 毎週金曜日 午後 0 時 30 分

例会場 南海グリール 天兆閣別館 4 階「ローズ」 Tel: (072) 222-0131 番 (代表)

ガバナー(第 2640 地区) : 岡本 弥生

ガバナー事務所 URL : <http://rid2640g.com/okamoto26-27/>E-mail : okamoto26-27@rid2640g.com

会長 : 嶽盛和三 幹事 : 奥原史成 広報委員長 : 中川 澄 編集者 : 那須宗弘

四つのテスト 言行はこれに照らしてから 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日の例会

2026 年 9 月 25 日(金)第 2135 回

卓 話 「堺都心部の未来に向けて」

卓話者 堺まちづくり株式会社

代表取締役 荻田 俊昭 様

紹介者 会員 綿谷 伸一

今週の歌 「我らの生業」

「ちいさい秋みつけた」

出席報告・会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA 報告

次回の例会

2026 年 10 月 2 日(金)第 2136 回

ガバナー公式訪問

12 時 15 分 点鐘開会

卓話者 国際ロータリー第 2640 地区

ガバナー 岡本 弥生 様

中島百合会員・柏本信之会員・松岡則智会員 入会式

*10 月 9 日(金)は休会です。お間違いないように
お願いいたします。

前回までの例会

2026 年 9 月 11 日(金)第 2134 回

卓 話 「モンゴルでの学び

～JICA 海外協力隊の活動を終えて～」

卓話者 (株)建匠 林部 雅司 様

紹介者 会員 和田 広美

今週の歌「四つのテスト」「堺北 RC の歌」

「誰もいない海」

出席報告・会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA 報告

○皆出席表彰(9 月度) 萬代壽香会員(第 1 回)

○ロータリー財団表彰

泉谷一郎会員…ポールハリスフェロー②

塩見 守 会員…ポールハリスフェロー②

奥原史成会員…ポールハリスフェロー

<9 月 11 日(金)の出席報告>

会 員 数	31 名
出席会員	17 名
欠席会員	13 名
準会員	0 名
ゲスト	1 名
ビジター	0 名

今週の歌「ちいさい秋みつけた」

だれかさんが だれかさんが
だれかさんがみつけた
ちいさい秋 ちいさい秋
ちいさい秋みつけた
目かくしおにさん 手のなるほうへ
すましたお耳に かすかにしみた
呼んでる口笛 もずの声
ちいさい秋 ちいさい秋
ちいさい秋みつけた

2026-27 年度 国際ロータリーのテーマ 「持続可能なインパクトを生み出そう」

国際ロータリー会長 オンラインカ・ハキム・ババロラ (ナイジェリア / トランス・アマディ RC)

卓 話

「モンゴルでの学び

～JICA 海外協力隊の活動を終えて～」

(株)建匠 林部 雅司 様
会員 和田 広美



モンゴルと聞いてみなさん何を思い浮かべますか？「広大な草原、ゲル」、遊牧民、「スーホーの白い馬」、今なら「VIVANT」を思い描く人が多いのではないのでしょうか。また、国の名前は知っているけどモンゴルについてはあまり知らないという人も多いのではないのでしょうか。私は今回、JICA 海外協力隊としてモンゴルで二年間活動する機会をいただきました。モンゴルでの活動や生活で感じたこと、そして日本を離れたからこそ改めて気付いたことについて少し話をさせていただきます。モンゴルは日本の約4倍もの広い国土を持ち、夏と冬の寒暖差が非常に大きい国です。真冬の寒さは-30℃となることもあります。乾燥していることとも夏はありとても過ごしやすい気候です。首都のウランバートルは都市化も進み、市の中心部では都市化やIT化は進み日本とほぼ変わらない生活ができるほどです。その一方、人口が首都ウランバートルに集中しており、交通渋滞や学校不足、大気汚染など、都市部への人口集中に伴うさまざまな課題も抱えています。しかし、モンゴルの人や文化はどこか40年、50年前の古き良き日本を彷彿させるものがありました。

JICA ボランティア事業は(1)開発途上国の経済・社会の発展、復興への寄与、(2)異文化社会における相互理解の深化と共生(3)ボランティア経験の社会還元を主な目的として実施されているもので、現地で自分の持っている知識、技術、経験などを生かして活動する人がJICA 海外協力隊です。

今回私は、モンゴルサッカー協会の要請でサッカー隊員としてモンゴルに派遣され、エリートアカデミー(日本でいう府県や市で行なっているトレーニングセンター)を通じた選手・コーチの育成、学校やクラブチームでの巡回指導、地方でのサッカー指導など、幅広い活動を行うことができました。

モンゴルでは競争や順位のあるものは結果が一番といった風潮がまだまだ多くあることが、長期的な目線で子どもを育てることを意識した指

導者や先生が少ないので、こうした点を少しずつ変えていくことがモンゴルのサッカー環境の充実や普及育成に繋がっていくと思います。言葉や習慣、学び方の違いなどもありうまくいかないことも多くあり大きな成果を残すことはできませんでしたが、子どもたち、指導者、周りの関係者、多くの方に助けられながら楽しく充実した活動を行うことができました。二年間の活動が少しでも今後のモンゴルサッカーの発展に繋がるきっかけになればと思っています。

二年間、JICA 海外協力隊として海外生活を通してたくさんの「学びと気づき」がありました。これまで当たり前だと思っていた日本の環境や文化を外側から見ることができ、改めて日本の良さを実感しました。同時に異文化の中にある良い部分や今の自分や日本に足りないものがあること、人と人とのつながりの大切さを強く感じました。そして現地で人を育てる活動をする中で、「大人が変わる」ことも重要性についても考えさせられました。子どもたちだけを変えようとするのではなく、周囲の大人や指導者が変わることで、子どもたちの環境や未来も変わっていく。これはスポーツの指導に限らず、これは地域づくりや人材育成にも通じる大切な視点だと感じました。

モンゴルという異文化の中で、サッカーを通じて現地の人々と関わり、選手や指導者の育成に携わった二年間。この経験を単なる海外での活動で終わらせず、地域の活性化、人材育成などの社会還元につながる活動を今後も続けていきたいと考えています。協力してくださる方や興味のある方いらっしゃいましたらご連絡ください。





会長の時間

会長 嶽盛 和三



去る 8 月 28 日、拡大例会開催前の臨時理事会で入会のご承認をいただきました中島(なかしま)百合(ゆり)様、また、9 月 4 日の理事会で同じく入会のご承認をいただきました、柏本信之(かしものぶゆき)様、松岡則(まつおかのり)智(とも)様お二人と合わせて 3 名の方々の入会の異議の有無を、会員皆様方に書面にて送付し確認をお願いいたしましたところ、本日まで異議ありの届け出がありませんので、来週は例会が休会になりますので、本日の例会終了後臨時理事会を開催し二度目のご承認をいただきたく存じます。

理事会でご承認をいただきましたら、10 月 2 日ガバナー公式訪問日の例会にて、入会式行いたく存じます。入会グッズをガバナーより渡していただこうと思っております。

では三回目の私の生い立ちの紹介をさせていただきます。

前回、私の従兄弟(いとこ)の紹介で、養護施設で、アルバイトをしながら、どうにか自力で大学を卒業することが出来た、と言うところまで紹介致しました。

そのアルバイト先の養護施設の施設長に、卒業後もそのまま勤めて欲しいと言われて 10 年間勤めさせていただき、その中で、今の家内と社

内結婚、施設長に仲人(なこうど)をしていただき、昭和 57 年(31 歳)、長男が小学校入学、長女が幼稚園入園を期に、大阪に移り、大変お世話になった守口市の従兄弟の寺の檀務を 3 年間勤めた後、現在の住職地に根を張りました。

今の寺に入った時、昭和 60 年 4 月(34 歳)当時、現在の寺は、敷地 150 坪に本堂、庫裡があるだけ、檀務と言え、月参りが 60 軒、檀信徒数 200 軒程で、住職一人が食べていける程度の寺で、元の住職夫婦が暮らしておりました。

そこに家族 4 人が加わりましたので、私達が来ても急に収入が増えることもなく、当時は寺の収入もどんぶり勘定で、給料も決まっていなかったと思います。

このままだと、収入の分捕り合いになるだけだと思い、収入を増やすことを考えて先ず、収入の一番は葬儀を増やすこと、そのご縁があれば、法事も増えることにつながるので、当時は今のような、葬儀会館もほとんどなく、ご自宅、地域会館でのお葬儀が多く、個人のお葬儀屋さんが主流でした。そのため、個人のお葬儀屋さんに、缶ジュース、缶コーヒー、缶ビールを持って営業に回りました、お蔭で徐々に葬儀が増え、収入の基盤作りが成功しました、また、当時は葬儀に招くお寺さんの人数も 2 人～3 人と日本経済の状況も良かった時代でした、時代に乗ることが出来たのが一番だったと思います。

私が今の寺に入らせていただいたのが昭和 60 年で、昭和 63 年 7 月に先代住職が亡くなられ、63 年 9 月に住職に就任、私一人になりましたので仕事も忙しくなり、毎日朝から夕方まで昼食もまともに取れない程でした。

一日中車で 100 km 走り、お勤めもこなしました、新車で購入しても 3 年間で 10 万キロ、1500cc クラスの車は、仕事の途中で止まってしまい、最初の車検の 3 年持ちませんでした。車屋さんに相談して車体が小さくて排気量の大きな車を選んでもらったのが、マーク II 3000 cc でした。これはよく走りましたが、ガソリン代が毎月 15 万円程かかりました。

仕事が忙しくなり、このままでは体をこわしてしまおうと思い、手伝いの僧侶(そうりょ)をお願いしたのが 2 年目の平成元年、その後 3 年に一人の割合で増やして、現在は私を含め、僧侶 7 名にて檀信徒の葬儀、法要、先祖供養を勤めておりますが、葬儀ホールで行う葬儀がほとんどで、私達が最初お世話になった個人の葬祭業を営む方も大手のホールを持つ葬祭業の進出でめっきり減ってしまい、全てが様変わり致しまし

た。どの法要も僧侶一人で勤める縮小型になりました。

しかし、時代に乗せていただいたお蔭で、当初の目標の7割ぐらいは達成することが出来ました。40年間で、境内地はおおよそ1000坪に拡大、檀信徒数も当初の10倍になりました。しかし今後は少子高齢化による人口減少、寺檀関係の縮小化、老後の先行き不安など、先細りの状況です、現在の状況をいかに保つかが全ての寺院の問題でもあります。

私の寺院ではこれを受けて、①「檀信徒との信頼関係構築」②「寺院の内外の清掃（きれいに保つ）③「適正なお布施の価格」この三つをモットーに勤めていく覚悟です。

委員会報告

広報委員会

「ロータリーの友9月号 ご紹介」

広報委員 池田 茂雄



「左開き」

・P.3 RI会長メッセージ

オンラインカ・ハキーム・ババロラ

RI会長が訴えておられます

ロータリーはプロジェクトではなく 数字でもなく「人」を大切にしてきました

創立125周年を迎える2030年までに ロータリアン125万人 ローターアクト12万5千人を達成するという目標がロータリーにはあるのです
これは 人に焦点を当てた目標なのですが 数字そのものが人の心を動かすと期待しているからではないと言っておられます

ロータリー入会によって 人生が変わる可能性のある人がいるから 会員増強が必要なのです
私は自分が求めていなかった友情という生き甲斐をロータリーに寄って得ることができました
ロータリーで真の生き甲斐を見いだせる人がいるのです

色々な角度から そのことを強く訴えておられます

・P.4 ポリオの根絶を歴史に刻もう

今年度 財団管理委員長 ジェニファー・ジョーンズ氏

10月24日は「世界ポリオデー」です 私達が二度とポリオで苦しむことがないようにするというロータリーの誓いを改めて確認する日なのです

ポリオ撲滅は 勇気と思いやり そして奉仕に

よって未来を変えられるという信念に基づいた人類の取り組みなのであります

・P.16 ロータリーの友 地区代表委員からのメッセージ

第2640地区 友地区代表委員である河内長野高野街道クラブの梶野行良氏

ロータリーの友は他地区の情報や 学びを深めるための貴重な情報誌なのです

自分のクラブの活動状況を投稿して下さい
「友」誌を開くのが楽しくなりますよ

なかなか持ち歩けない場合 電子版がありますので 事務所 自宅などで ご利用ください

・P.20 国際ロータリー理事退任にあたって

水野 功氏（東京飛火野RC）

2024年から26年までの2年間 国際ロータリー(RI)の理事として この上ない名誉ある機会を頂きました

私が改めて確認したのは ロータリーは規則だけで成り立つ組織ではないということです
ロータリーを支える最大の力は 会員一人一人の誠実さと「超我の奉仕」の精神です 制度は信頼を支えることはできますが 信頼そのものを生み出すのは 人であり 人の行動なのです

・P.24 米山記念奨学事業の基礎知識

米山記念奨学事業はRIから承認された我が国独自の国際奉仕事業であり 日本に学びに来た外国人留学生との心のつながりを世界平和の礎とすべく行っている活動です

2025～26年度 寄付金収入 12億9,516億円(1名@15,628円) (前年より 2.3%減少)

管理費を引いた97.4%が奨学金として活用されており 毎年1,000人前後の留学生が対象です 尚支出した寄付金は税額控除の対象となります

「右開き」

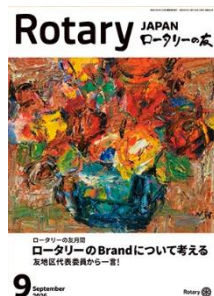
・P.2 JR九州のまちづくり

九州旅客鉄道(株) 代表取締役 古宮洋二様のお話しです

日本国有鉄道時代に入社された方です 当時我が国 最大の国鉄労働組合問題・分割民営化問題・毎年の赤字経営時代などを経験されました中でのお話です

・P.12 俳壇 堺フェニックスRC 米田眞理子さん

「猫たちと台風の目の中にいる」



国際奉仕委員会

昨年度国際奉仕「サンミゲルデマ RC ミシン寄贈プロジェクト」その後の報告
国際奉仕副委員長 北村 勝博



昨年度実施しました国際奉仕活動のひとつ「サンミゲルデマ RC ミシン寄贈プロジェクト」のその後の報告が現地より、Facebook ですが、届きましたのでご紹介いたします。



リリベス・ベルムデス会長率いるサン・ミゲル・デ・マユモ・ロータリークラブは、堺北ロータリークラブ、羽曳野ロータリークラブ、和歌山城南ロータリークラブと協力し、2026年9月11日、ミシンの寄贈を実施しました。

ミシンのほか、ドアマットや鍋つかみの製作に使用する生地も、受益者の皆様に贈呈されました。今回の寄贈は、日本の姉妹クラブから以前に寄贈されたミシンに続くものです。

この意義ある取り組みは、受益者の皆様に貴重な生計向上の機会を提供し、縫製技術の向上を支援するとともに、ご家族のためのより安定した収入源を築くことを目的としています。

ロータリーの「超我の奉仕 (Service Above Self)」の精神と、国境を越えた友情と協力の強い絆を通じて、私たちはこれからも、人々の人生をより良い方向へ変え、より強い地域社会を築くための機会を創り続けていきます。

ともに夢を縫い合わせ、それを現実のものにし、末永く続く大きな成果を生み出していきます。



社会奉仕委員会

「」ダメ・ゼットタイ「募金の報告」
社会奉仕委員長 北側 一雄



9月度の「ダメ・ゼットタイ」募金を行いました。今回は塩見会員からのご寄付で淡路の「大江のり」です。募金金額11,000円でした。皆様のご協力に感謝いたします。

「仁徳天皇陵」清掃奉仕のご案内

社会奉仕委員長 北側 一雄

恒例の仁徳天皇陵の清掃奉仕「仁徳陵をまもり隊」が下記要領にて実施されます。何かとご多忙のこととは存じますが、ご参加、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

記

日時 令和8年11月1日(日) 午前9:30～

集合 午前 9:15

収塚古墳広場【東側駐車場(有料)の東側】

服装 ロータリーメンバーはジャンパー帽子
家族のかたは自由です。

当日はメイクアップ扱いと致します。

持参する物 特に必要なし 道具等は社会奉仕委員会で用意致します。

雨天等の関係で中止の場合、参加予定者の皆様に社会奉仕委員会より午前7:50頃までにご連絡いたします。

尚、雨天中止の場合には次回予定が11月8日(日)となります。

幹事報告

(1) 配布物

・週報 ・ロータリーの友9月号

(2) ガバナー公式訪問のご案内

10月2日(金) 例会は「ガバナー公式訪問」です。岡本弥生ガバナーが入場される際、会員の皆様でお出迎えをしていただきたく、また、入会式もこの日に予定しており、12時15分点鐘開会とさせていただきます。

お忙しい中恐縮ですが、会員の皆様には12時10分までには例会場にお集まりいただけます様、どうぞご協力のほど宜しくお願い申し上げます。食事は例会開会后、一斉食事で創立記念の乾杯をします。

(3) 児童養護施設 清心寮「夢と笑顔の体験プロジェクト」について

おかげさまでご協力いただけるメンバーが揃いましたので、募集を締め切らせていただきます。ありがとうございました。

(4) 他クラブ例会変更・休会のお知らせ

【堺東RC】

10月13日(火)→9月24日17:30～

『秋の交通安全街頭キャンペーン参加』に変更

場所：中百舌鳥駅前ロータリー

【堺おおいずみRC】

9月30日(水)→9月29日(火)夜間例会18時～

場所：三国ヶ丘「暖ダン」

10月14日(水)→同日16時～

場所：変更ありません。

10月28日(水)→10月24日(土)18時～

創立42周年記念例会

場所：ホテルロイヤルクラシック大阪

SAA 報告

奥原史成会員 林部様、本日の卓話楽しみにしています。

北側一雄会員 林部さん、卓話楽しみです。ちなみに堺北RCには、何時入会されますか!?

北村勝博会員 林部様、本日は卓話よろしくお願いします。モンゴルでのJICA活動のお話し、楽しみにしています。最近、会話の相手がAIソフトになっています。ボケ防止です。

笹山悦夫会員 林部様、拡大例会では楽しいお話しありがとうございました。本日の卓話、お待ちしております。

嶽盛和三会員 林部さん、卓話ありがとうございます。楽しみにしております。

中田 学会員 林部様、本日の卓話宜しく願い致します。入会お待ちしております。

畑中一辰会員 林部様、卓話よろしくお願いします。

綿谷伸一会員 林部様、卓話よろしくお願いします。池永会員、梨、ご馳走さま。

和田広美会員 林部さん、今日の卓話楽しみにしております。よろしくお願い致します。

合計28,000円

◆ロータリー財団年次寄付…吉村博勝会員

その他

第2回 臨時理事会

2026-27年度理事会構成メンバー

嶽盛、北村、鶴、萬代、池田、和田、古川、畑中、塩見、北側、佐藤、池永、奥原 (会計監事：城岡)

日時 2026年9月11日(金) 例会後

場所 南海グリル 天兆閣別館 4F ローズ

議案

1. 新入会員候補者3名について - 承認
・オリエンテーション・入会式 10月2日(金)
2. 堺7RC連絡会 堺市立総合医療センターより救急車 クラウドファンディングのお願い(堺RC)
- 7RC全ての同意が前提で会員ひとり7000円の寄付承認



ロータリー財団表彰
代表 塩見 守会員…ポールハリスフェロー②



9月度皆出席表彰 萬代壽香会員(第1回)



林部様、本日は貴重なお話をありがとうございました



池永会員より、瑞々しく美味しい旬の二十世紀梨を送っていただき、例会のデザートとしていただきました